

# ふくろう新聞

<発行>  
 特別養護老人ホームの郷会  
 淡路ふくろうの郷会  
 広報委員  
 洲本市中川原町  
 中川原28番地1  
 TEL: 0799-25-8550  
 FAX: 0799-25-8551

## 自分で作ったよ！巻き寿司

5月21日の淡路ふくろうの郷の昼食では、入所者自身が巻き寿司を作って食べるという、楽しい試みをしました。

午前11時から準備開始。まず念入りに手を消毒します。

さらに調理用手袋をして、準備万端です。

さあ、巻き寿司づくりです。リビングのテーブルの上に並べられた具を一品一品手にとって、ご飯の上



どんな巻き寿司にしようかな？

す。自分の好きなものばかり並べる人、何でもきれいに丁寧に並べる人、いろいろの方がいました。

巻き寿司を巻く作業にはみなさん苦戦していました。上手に巻かれる方も

いらつしやいますが、やり方の分からない方もいらつしやいました。そんなとき

は、やり方の分かる入所者が教えてあげたり、一緒に作ってあげたりされて、ほほえましい光景も見ら



盲ろうの方も一緒に作りました。

れました。

そしてみなさん、自分で作った巻き寿司を自分で召し上がっていました。みなさんとてもおいしそうでした。

「作る」楽しみ、「食べる」楽しみ、2つ一度に楽しめた今回の企画だったと思います。

これから入所者の視点に立った楽しい企画を考えて生きたいと思えます。

(介護…角村)



私が作った巻き寿司です

## まめ知識

「ひょうご高齢聴覚障害者施設建設委員会」が、淡路ふくろうの郷開所に伴って発展的移行をし、「ひょうご聴障ネット」になりました。私たちと「ひょうご聴障ネット」は深く関係しています。

## ひょうご聴障ネット アピールパレード



▲ アピールパレードのスタートです。

5月10日(日)、神戸市立婦人会館で「ひょうご聴障ネット」二〇〇八年度の定期総会が行われました。総会終了後は聴覚障害者の社会参加を訴えるために、神戸三宮間をアピールパレードしました。パレード(デモ)は今年で2回目です。

昨年はみんなの力を合わせた訴えや各種取り組みで、兵庫県立聴覚障害者情報センターの予算削減を阻止することができました。

ひょうご聴障ネットとは、会費や募金などを聴覚障害者を対象とした福祉事業に分配することを目的とした団体です。今後は、また新たな施設建設も視野に入れ活動を行っていく予定です。多くの方々に活動内容をご理解いただき、会員になっていただきたいと思えます。

淡路ふくろうの郷も「ひょうご聴障ネット」の会員であり、ご支援もいただいています。

私たちは職員共々、多くの仲間と共に今後も聴覚障害者や盲ろう者の生活を守るための運動を行っていきます。

(事務…森岡)



▲ 商店街の中でもアピール！

### 入所者紹介 伊藤照子さん



今月は月ユニットに入所されている伊藤照子さんを紹介します。

今では車椅子での生活をされていますが、若い頃はとても働き者だったとのことです。

表情が豊かで、話しかけたときに見える柔和な笑顔が周りを和ませてくれます。

いつも職員に「おはよう」や「ありがとう」と、丁寧にあいさつやお礼を言ってくださいます。

ときおり活動的な一面も見せ、冬の晴れた日に、「散歩に行きたい」とおっしゃられたので、職員と一緒に施設近くまで散歩に出かけたことがあります。

伊藤さんはお顔に人柄がにじみ出ています。伊藤さんのような誰からも好かれる人になりました。

(介護・角村)



### 還暦のお祝い 長塚淑子様

入所者の長塚淑子さんが5月28日で満60歳の還暦を迎えられました。

当日ご家族が来所され、一緒にお祝いをされました。

姉の寿子さんは「最近笑顔が多く、ここになじんでいるのがうれしい。体調もよくて、落ち着いて生活しているのが家族としては何よりうれしい。健康が一番です。淑子は体が弱かったからこんな長生きできるとは思わなかった。これからもよろしくお願ひします」と語ってくれました。

職員としては、ご本人、ご家族ともに喜んでいただけてうれしい限りです。



▲冬に近くの池まで散歩に出かけました。



お姉さんと一緒にケーキを前にして

また、「体調がよいので、甥の結婚式に出席したかったが、インフルエンザ騒動で行けなくなったのが残念です」と、おっしゃっていました。

これからも淑子様の毎日の生活を支援してきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

(介護・角村)



▲春祭りで獅子舞を見て笑顔に。



※前列右から

■相良 ヒサ子さん (77)

昭和7年6月15日

■今川 エイさん (86)

大正12年6月11日

※後列右から

渡辺伸子(調理)

岩林雅子(介護)

※右から

■畠 ゆり子さん (90)

大正8年6月26日

■竹邊 正晴さん (74)

昭和10年6月1日

■魚住 登喜男さん (51)

昭和33年6月20日



# 新連載



## ボランティアさん紹介 〜森本博通さん〜



森本さんは日頃から様々なボランティア活動をされている非常にバイタリテイのある方です。お忙しい中、花壇の手入れや書道教室のご支援、買い物のお付添いと、毎回来てくださっています。

中でも花壇の手入れには毎朝早くから施設まで足を運んでくださり、花の水遣りをしてくださっています。

森本さんのような熱心で誠実なボランティアさんに淡路ふくろうの郷は支えられています。

(介護：角村)

今月号から淡路ふくろうの郷を支えてくださっているボランティアの皆様と、各部署職員を紹介していきます。第一回は、淡路ふくろうの郷の開所前からご協力いただいています森本博通さんと、部署では総務を紹介します。

## 淡路ふくろうの郷 部署紹介「総務」

事務室では施設長と事務長、2名の事務員、計4名が仕事をしています。パート職員も2名おり、いろいろな施設内のサポートをしてきています。

写真には写っていませんが、宿直さんも3名います。毎夜の交代勤務でふくろうの安全を守ってくれています。

淡路ふくろうの郷にはたくさんの方が見学者がお越しになります。一人でも多くの方にふくろうの郷を知っていただき、また新たな場所での建設運動のきっかけになることができればと、私たちは思っています。

そして、これからも現場の職員と共に、入所者さんが心穏やかに暮らせる家庭(家族のような関係)を作っていくきたいです。

(事務：森岡)



皆様のお越しをお待ちしております。

〔おしらせ〕  
事務所では中川原地域の青空会にお願いして、玉ねぎの販売も行っています。毎年とても好評をいただいています。

お求めの際はご連絡を。

## 理事リレーエッセイ

〜理事 池上睦〜

淡路ふくろうの郷も開設から4年目に入り、生活も落ち着いてきたと思うこの5月に新型インフルエンザが発生し、入所の皆様や職員の皆様もご心配やご苦労があったことと思います。

私の勤務する障害者支援課でも連絡調整など慌しく、やっと聴覚障害者用のFAX相談窓口ができたもののその番号を情報センターには伝えても、いたずらFAXがあるかもしれないと言ふことで新聞やピラでは公表しないとやられてしまいました。後になってから公表されましたが相談することも出来ずに困っている人はいないか不安でいっぱいでした。

他県では相談窓口でのFAX対応の段階から通訳者が呼ばれて確実に聴覚障害者にFAX対応をおこなう、診察が必要となればあらかじめお願いしてある専任通訳者が防護服を着て通訳することが早くから決まっていた市がありました。

のでしよう、やはり兵庫県ではまだまだ聴覚障害の問題を正しく理解してもらえないのが原因だろうと思います。

聴覚障害者のことや手話通訳のことが充分理解してもらえていないことにも息が出ます。感染症でもし通訳が必要になったら、全く身分保障のない登録通訳者が通訳することは非常に心配ですし、専任手話通訳者が通訳することによって濃厚接触者として隔離されてしまうと聴覚障害者皆が困ります。

行政や情報センターと関係者で、聴覚障害者も通訳者も安心できる対応方法を早く準備して欲しいと思います。

新型インフルエンザは秋頃からまた広がると予測されています。とりあえずは予防を心がけなければなりません。予防は心がかかりますが、どんな時にも十分な情報保障ができるようになって欲しいですね。

# 地域を語る

## 第6回 大照寺のきょうり加持 (加持とは仏の助けと保護を祈ること)

伝承によりますと、およそ二〇〇年前、四国から大照寺の住職となった僧によって始められたのが由来の「きょうり加持」であったと伝えられている。

全国においてもきょうり加持、あるいはきょうり封じと称し、幾多の寺院で祈願がされているようであるが、二〇〇余を有する淡路の寺院の中にあつて唯一、二ツ石の大照寺が執行されており、古くからきょうり加持の寺として多くの人々に知られている。

この加持は毎年、土用の「丑の日」に行われるもので、本間住職のもとで朝の零時から午後六時まで祈祷されている。

加持を受ける人は、きょうりを持参、願い事を記し、これをきょうりに封じ込めてもらい、お札を持ち帰って願

をかけた日数の間、朝と夕に水を供え、その水を飲むと悪病が去り願い事が叶うと伝えられている。

このようなご利益をいただくために多くの信者が訪れており、昔は洲本より臨時バスが運行されるなど盛んな賑わいを見ていたのであるが、近年はマイカーによる参拝者が多く、特に遠くは関東から京阪神に至る大勢の方の郵送によるご祈祷が増えて来ており、今もって盛大に執行されている。

ちなみに今年七月十九日(日)が土用の丑の日当たりますので早朝より多くの信者が訪れられるでしょう。(提供：浅野拓男氏)



▲ 大照寺の立派な本堂

## おのころの家に新車の寄贈



地域活動支援センター「おのころの家」に、このたび日本財団より、8人乗りワンボックスカーを1台寄贈いただきました。

## ふくろう畑だより



短時間ですが入所者さん達と草引きを行っています。収穫の日が待ち遠しいです。

## 新型インフルエンザ対策



淡路ふくろうの郷でも感染予防のための対策をとりました。

来所された方には体温測定、手指のアルコール消毒、マスク着用をお願いしました。ご家族の面会は、ユニット外のロビー等に限定させていただきます。

5月中の見学はやむなくお断りさせていただきます。入所者の買い物など施設での行事・外出を最小限にしました。職員には、出勤時に手洗い・うがい・マスク着用を呼びかけました。

皆様のご理解、ご協力のおかげで、感染者が出ることなく過ごせました。今後とも季節性インフルエンザなど他の感染症に対しても、入所者を守るために取り組みを続けていきます。

(医務：渋谷)

## 淡路島祭り ボランティア募集

今年度も淡路ふくろうの郷は淡路島祭りに参加します。ご協力いただけるボランティアさんを募集しています。

- 8月1日(土)(予定)14:00~
- 内容・・・車椅子の入所者の誘導。踊りに併せての山車引き。

<お問い合わせ>淡路ふくろうの郷 担当：森岡  
TEL：0799-25-8550 FAX：0799-25-8551

## ふくろう喫茶よりお知らせ

ふくろう喫茶でふくろうの郷の入所の方々と一緒に楽しい時間を過ごしませんか。

- ◆開催日時：7月19日(日)13:00~15:00
- コーヒー・ココア・紅茶・カルピスなどなど1杯¥200より

